

栗原みつはる議会報告

Vol.29～「介護・福祉の未来」を創る～



災害情報の共有（一般質問）

今年元旦16:10に発災したマグニチュード7.6を記録した能登半島地震では、多くの家屋の倒壊や火災・津波などによって関連死も含めれば281名の方が亡くなられております。

発災当初、道路や上下水道施設といった主要インフラが寸断され、すぐに救助にも入れない状況となり、未だ多くの方が避難生活を余儀なくされております。

13年前の死者・行方不明者合わせて約2万人もの犠牲者を出した東日本大震災以降で何度となく震度5以上の地震が発生しており、いつ本市が大規模地震に見舞われ被災してもおかしくない逼迫した状況であると非常に危機感をもっております。

被災地で何が起き、何が課題かを詳しく知り、

川越市の対策に落とし込むことが重要！

実際に被災された方や救助に入られた方などの話を直に聞いたことがあるならば、報道されている以上の悲惨さや被災者の思い、復旧・復興までの途方もない苦労を多くの人が感じるのではないのでしょうか。

そのような中、これまで市職員も東日本大震災、熊本地震、そして能登半島地震へと災害派遣に赴き被災地支援に入っております。

しかしながら把握された課題等について、災害派遣期間が終了した際の部署内での共有方法は統一されておらず、報告事項に関する規定もありません。

全庁的な共有についても、市長などを交えた報告会を開催して共有している部署はあるものの、すべての部で同様な対応ができていないのが現状です。

令和6年能登半島地震における災害派遣実績

支援項目	支援内容	担当部署
給水車による応急給水活動	給水車1台, サポートカー1台 上下水道局職員累計8名	上下水道局 総務企画課
避難所運営支援	防災危機管理室職員累計2名	防災危機管理室
保健師等の応援派遣	保健師2名, 一般行政職2名	保健医療部 保健医療推進課
罹災証明書発行支援業務	福祉推進課職員1名	福祉部 福祉推進課
災害廃棄物処理に関する支援	環境施設課職員3名	環境部 資源循環推進課
公費解体に関する事務など	総務部付職員1名	総務部 職員課
住家被害認定調査支援	資産税課職員累計2名	財政部 資産税課

東日本大震災以降の震度5以上の地震

年	回数	被害の大きかった地震
2024年	23回	2024年 能登半島地震 死者281人、行方不明者3人 負傷者1326人
2023年	8回	
2022年	14回	
2021年	10回	2018年 北海道胆振東部地震 死者42人、負傷者762人
2020年	7回	
2019年	9回	2018年 大阪北部地震 死者4人、負傷者434人
2018年	10回	
2017年	8回	2016年 熊本地震 死者273人、負傷者2809人
2016年	28回	
2015年	10回	2011年 東日本大震災 死者19775人 行方不明者2550人 負傷者6242人
2014年	9回	
2013年	12回	
2012年	17回	
2011年	62回	

参考：内閣府防災情報ページ

さらに能登半島地震への派遣では、市所有スマートフォンの貸し出しをしているものの、内蔵されている専用アプリを使用しただけの被災地の画像や支援業務における課題・業務以外でも感じた問題点などのタイムリーな共有はされていません。

また、市内民間企業や民間の関連団体による災害派遣の実績については把握しておらず、被災地での課題等についても共有はされておられません。

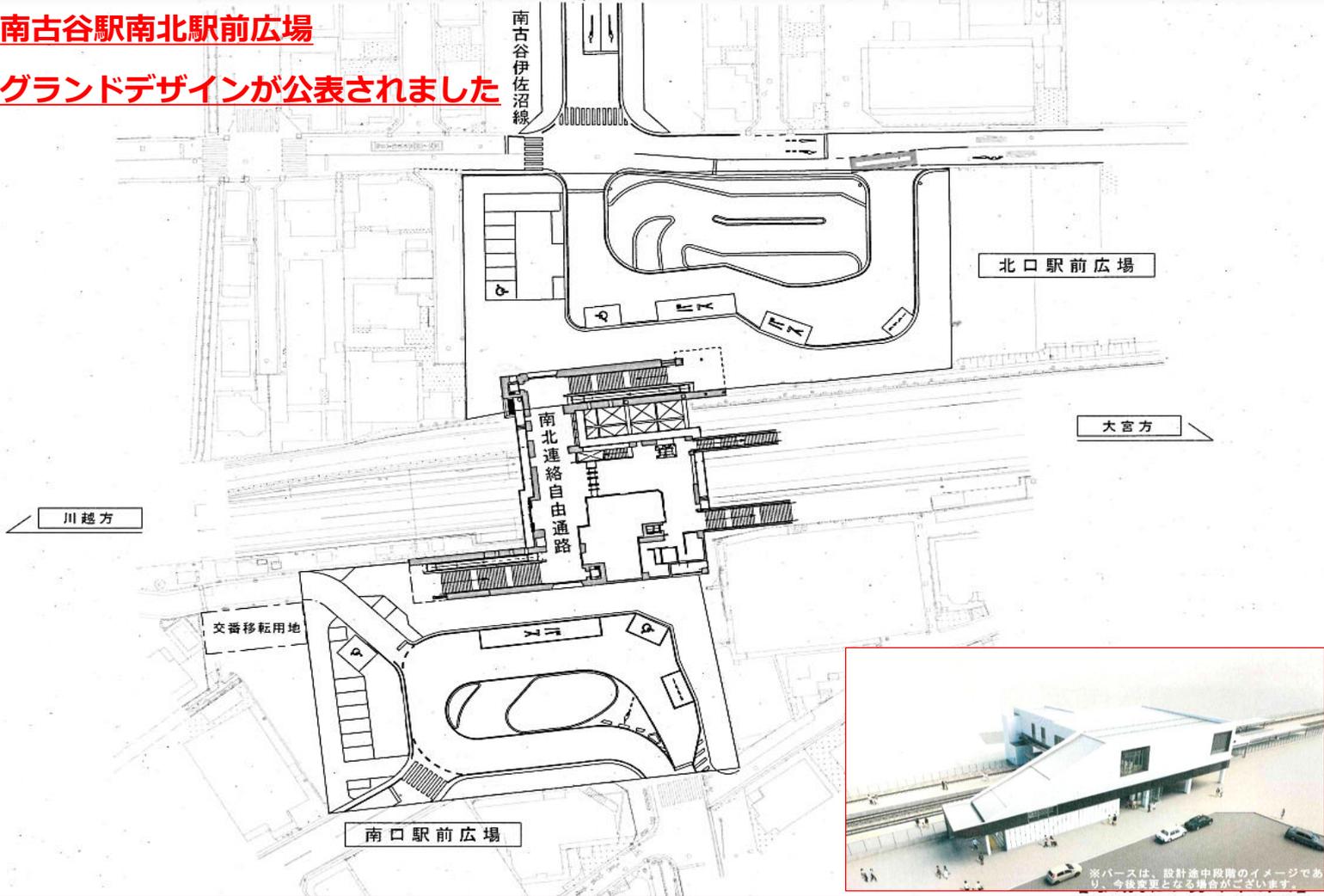
川越のことを良く理解している職員、企業や団体だからこそ、被災地で起きたことを川越に置き換えて考えることができ、川越に潜むリスクを分かるものと考えますが、現状ではそこで得られた情報を市が十分に把握しているとは感じられません。

【提言】 今後、災害派遣職員や被災地に赴いた民間企業・関連団体等が肌で見て感じた被災地の課題などを集積して共有していくべきではないか？

→市長を本部長とする災害対策本部を平常時に開催する、あるいは関係機関・団体も参加している川越市防災会議を開催するなどし、これらの場を通じて情報の共有・一元化を図っていきたい。

南古谷駅南北駅前広場

グランドデザインが公表されました



グランドデザインは決まってきましたが、北口自転車駐車場や内水対策、ごみ集積所等の課題については今後も市と協議してまいります。

◆川越市人口◆

令和6年7月1日現在

人口	世帯数
353207人 (+371人)	169262世帯 (+945世帯)

*カッコ()内は令和6年4月1日対比増減



岸町二丁目地内。降雨時に雨水が溜まってしまっていたL字溝の改修。



並木地内。住宅開発により右側が見えなくなっていたため
新規に右向けカーブミラー増設

◆ホームページリニューアルしました◆

<https://www.mk-jimsho.jp/>



栗原みつはる プロフィール

昭和46年6月9日川越市岸町生まれ(53歳)、南古谷並木在住、10歳と8歳の娘の父

ひつじ幼稚園卒園、仙波小学校・砂中学校卒業
 1990年3月 城北埼玉高等学校卒業
 1994年3月 立教大学経済学部経営学科卒業
 1994年4月 カナダへ語学留学
 2001年5月 ワタミフードサービス(株)入社
 営業部長まで務め経営・サービス業を学ぶ
 2012年9月 ワタミの介護(株)へ転籍
 有料老人ホーム エリアマネジャー
 2014年12月 SKYケアサービス(株)設立 取締役
 2015年4月 川越市議会議員選挙に挑戦し、次点惜敗

2017年1月 川越市議会議員に初当選
 2017年9月 MKコンシスト(株)設立 取締役
 デイサービスリーディング岸町・南古谷運営
 居宅介護支援事業所 リーディング運営
 2023年4月 川越市議会議員選挙当選(3期目)
 川越地区消防組合議員、土地開発公社理事
 総務財政常任委員会委員、議会運営委員会委員、都市計画審議会委員
 所属団体：川越商業経営研究会、川越葵ライオンズクラブ
 川越立教会、川越市倫理法人会、川越商工会議所青の会
 川越法人会、岸町囃子連、南古谷歌謡サークル、KMC

ご意見・ご感想・皆様の声をお聞かせください!

南古谷事務所 〒350-0023 川越市並木77-8
 岸町事務所 〒350-1131 川越市岸町1-25-18

携帯：090-6509-2419、電話：049-235-8425
 電話：049-247-7701